



せんだんの木



令和6年6月7日 校長 各務至

遊びながら成長する子供たち



岐阜市において、砂場用の砂を新しく入れていただきました。それに早々と気づいた子供たちが砂山を作って遊んでおり、私はそこにスコップを1本だけ持っていきました。すると、「校長先生、貸して!」と、1本しかないスコップに数人が寄ってきました。すると、ある子が「5回ずつね。」とルールを提案し、順番にスコップを使っていくことになりました。



南の運動場に行ってみると、1・2年生がブランコなどで遊んでいます。「1回、2回、、、」と数えていました。どうやら、10回で交代することになっているようです。

いずれも見事な問題解決で、子供たちは楽しさを分かち合うことができました。子供たちは、遊びの中でもこのように知恵を絞り成長していくのですね。もちろん、取り合ってトラブルになることもあります。しかし、「思いやり、公正公平、ルール」などを学ぶ成長のチャンスがあると考えています。ご面倒をおかけすることもあります。どうぞ、ご理解のほどよろしくお願いします。

人権教育に取り組んでいます

どの子もかけがえのない存在であり、「よくなりたい。できるようになりたい。」という子供の願いを実現していくことこそが、学校での人権教育にほかなりません。そのためには、子供たちがお互いを大切に思う気持ちを育てていくことが必要です。

今週の道徳の授業では、「いじめに気づく。いじめを許さない。」ことをテーマに取り組みました。中学年のあるクラスでは、思い通りにならないときの自分の気持ちを見つめ、「イライラする。」「相手のことが嫌になる。」「いじわるをしてしまう。」など、自分中心にしか考えられていない場合があることに気付きました。また、悲しい思いをしている仲間について、「もし自分がその立場だったら」と考えることの大切さを学びました。高学年では、いじめを見たら「すぐに先生に話す。」「大丈夫?と声をかける。」「やってはいけないことを相手に伝える。」などと、クラスにいじめを許さない気風を生み出していました。今後も、様々な教育活動において人権教育に取り組んでまいります。

また、「いじめSOSアンケート」のご家庭での見届けをありがとうございました。引き続き、悲しい思いをする子がいないよう全職員で努めてまいります。あらためて、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

